

令和2年度 社会科 1年歴史 年間指導計画・評価計画

< 1 > 教科の目標

広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

< 2 > 歴史的分野の目標

- (1) 歴史的事象に対する関心を高め、我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解させ、それを通して我が国の伝統と文化の特色を広い視野に立って考えさせるとともに、我が国の歴史に対する愛情を深め、国民としての自覚を育てる。
- (2) 国家・社会及び文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を、その時代や地域との関連において理解させ、尊重する態度を育てる。
- (3) 歴史に見られる国際関係や文化交流のあらましを理解させ、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深くかかわっていることを考えさせるとともに、他民族の文化、生活などに関心をもたせ、国際協調の精神を養う。
- (4) 身近な地域の歴史や具体的な事象の学習を通して歴史に対する興味・関心を高め、様々な資料を活用して歴史的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。

< 3 > 評価の観点及びその趣旨

社会的事象への 関心・意欲・態度	歴史的事象に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、広い視野に立って我が国の伝統と文化について考え国民としての自覚をもとうとする。
社会的な思考・判断・表現	歴史的事象から課題を見だし、我が国の歴史の大きな流れや各時代の特色などを多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。
資料活用の技能	年表や歴史地図、映像など歴史に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。
社会的事象についての 知識・理解	我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解し、その知識を身に付けている。

< 4 > 観点別評価の評価基準と評定

観点別 評価基準	A	十分に満足できる状況である。(80%以上)
	B	おおむね満足できる状況である。(50%以上)
	C	努力を要する状況である。(50%未満)

評定	5	十分に満足できる状況であるもののうちで、特に程度の高いもの。(90%以上)
	4	十分満足できる状況である。(80%以上)
	3	おおむね満足できる状況である。(50%以上)
	2	努力を要する状況である。(50%未満)
	1	一層努力を要する状況である。(20%未満)

< 5 > 指導上の配慮事項

- ①思考力・判断力・表現力の育成。→生徒の言語活動を充実させる指導。
- ②自主的・自発的な学習の促進。→体験的な学習や問題解決的な学習。 発展的な学習
- ③学習の見通しを立てたりする学習。 学習を振り返ったりする学習。
- ④個に応じた指導の充実。→ 個別指導 グループ別指導 繰り返し指導
生徒の興味・関心に応じた課題学習 コンピュータを活用した学習 補充的な学習

社会科 1 学年 歴史的分野 年間指導計画・評価計画

月	単元名 指導時数	◇ねらい○学習課題 ☆学習活動	評価の観点				・評価規準 (評価の方法)
			関	思	資	知	
6	第1章 歴史の移り変わりを考えよう	<p>○どんな時代にどんな人がどんなことをしていたのだろう。</p> <p>◇歴史上の人物や出来事などについて調べたり考えたりする活動を通して、時代区分や時代の移り変わりに気付かせる。</p> <p>◇中学校の歴史学習の導入として、歴史に対する興味・関心や歴史を学ぶ意欲を高める。</p> <p>◇歴史上の人物や出来事などについて、調べたり考えたりする活動を通して、歴史を学ぶ意欲を高める。</p> <p>◇日本の歴史の移り変わりに気付き、年代の表し方や時代区分について基本的な事項を理解する。</p> <p>☆歴史上の人物について調べたことをまとめ、カルタを作成する。</p> <p>☆作成したカルタを使い、カルタ取りを行う。</p>	●	●	●	●	<p>・日本の歴史上の人物や出来事などについての関心を高め、意欲的に学ぼうとしている。(関)(授業観察)</p> <p>・歴史上の人物や出来事などについて調べたり考えたりして、その過程や結果を適切に表現している。(思)(ノート・カルタ)</p> <p>・図書室やインターネットを活用して、意欲的に資料を収集し、まとめている。(関)(ノート)</p> <p>・まとめたことを的確にカルタに表現している。(資)(カルタ)</p> <p>・年代の表し方や時代区分についての基本的な事項を理解し、大きな時代の移り変わりに気付いている。(知)(時代名暗唱テスト)</p> <p>・意欲的に活動に取り組んでいる。(関)(授業観察)</p>
	第2章 原始・古代の日本と世界	<p>◇日本列島において人々の生活が始まり、やがて国家が形成されていった過程のあらましを、東アジアの動きと関連付けて理解させる。</p> <p>◇大陸の文物や制度を積極的に取り入れながら国家のしくみが整えられ、その後、天皇・貴族の政治を展開した古代までの日本の流れを大きくとらえさせる。</p> <p>◇古代の日本において、国際的な要素を持った文化からやがて文化の国風化が進んでいくことを、代表的な事例を取り上げて理解させるとともに、日本の文化財に対する関心を持たせる。</p>					

月	単元名 指導時数	◇ねらい○学習課題 ☆学習活動	評価の観点				・評価規準 (評価の方法)	
			関	思	資	知		
7	1節 人類の出現と 文明のおこり	○環境の変化とともに人類はどのように進化してきたのだろうか。 ◇人類が進化してきた過程や人類の特徴を理解する。 ○世界の古代文明はどのような場所でおこり、宗教はどのような地域で生まれたのか。 ◇農耕・牧畜によって社会が変化し、文明がおこったことに気付く。	●			●	・人類の進化の過程について、その概略をとらえている。(知) (テスト) ・文字や金属器の使用など、世界各地でおこった文明の共通点について考察している。(思) (ノート)	
	2節 日本の成り立ちと倭の王権	○縄文時代と弥生時代の違いは何だろうか。 ☆縄文時代と弥生時代の資料を比較し、違いを話し合う ○大きな古墳はなんのためにあるのか。 ○なぜ大和朝廷は中国に使いを送ったのか。 ◇日本の国家が形成されていく過程のあらましを、東アジアとのかかわりを通してとらえる。 ◇大和地方を中心に国内が統一されたことを、古墳の広まりを通して理解する。		●	●	●	・様々な遺物や遺跡の発掘など考古学の成果に関心を持っている。(関)(授業観察) ・様々な資料から、縄文時代と弥生時代の生活の特色について、とらえている。(資)(授業観察・ノート) ・中国の文献などから、国家が形成されていく過程について考察している。(思)(授業観察) ・遺物・遺跡などの具体的な資料を通して、古墳文化の特色をとらえている。(資)(ノート)	
	3節 大帝国の出現と律令国家の形成	○聖徳太子はどのように国を治めようとしたのか。 ◇聖徳太子の政治について調べ、その政治が何をめざしていたのかを、話し合う。 ○天智天皇は外国に対し、どのような政策をたてたのか。	●			●	●	・聖徳太子の政治の目的について考察し、その結果を適切に表現している。(思)(授業観察・ノート) ・大化の改新から律令国家の確立に至るまでの経過を年表的に確にまとめている。(資)(年表)
8	4節 貴族社会の発展	◇7世紀の東アジアの動きについて理解する。 ☆律令の制定、都の造営、地方への支配の広がりなどを通して、古代国家の特色について話し合う。 ◇班田収授法についてまとめ、奈良時代の人々の生活の実態を理解する。	●	●		●	●	・平城京について調べ、天皇・貴族の力の大きさや中国の影響について考察している。(思) ・貴族と農民の食事や住居を比較して、奈良時代の人々の生活の様子を読み取っている。(技能)

月	単元名 指導時数	ねらい・学習課題 学習活動	評価の観点				評価規準 評価の方法
			関	思	資	知	
9	古代の大観	<p>○聖武天皇はなぜ大仏を建てたのか。</p> <p>◇律令制度の基盤である公地・公民の制がくずれ始めた理由を考える。</p> <p>☆関心ある寺院や仏像について調べ、天平文化の特色をまとめる。</p> <p>○桓武天皇はどのような政治をしたのか。</p> <p>◇平安遷都の理由・意義や、平安時代初めの政治の特色について理解する。</p> <p>○なぜ藤原氏が摂政か関白を独占できたのか。</p> <p>☆摂関政治について調べ、藤原氏が摂政や関白の地位を独占できた理由を話し合う。</p> <p>◇国風化した文化の特色を、代表的な事例を取り上げて理解する。</p>	●				<p>・口分田の不足から墾田永年私財法が出され、公地・公民の制がくずれていった経過を理解している。(知)(テスト)</p> <p>・天平文化の寺院や仏像について意欲的に調べ、関心を持っている。(関)(ノート)</p> <p>・桓武天皇の政治について、その目的、内容、結果を理解している。(知)(テスト)</p> <p>・系図などの資料から、藤原氏が勢力を強めていった過程を読み取っている。(資)(授業観察・ノート)</p> <p>・仮名文字の成立や平安時代の文学作品を取り上げ、この時代の文化の特色を理解している。(知)(テスト)</p> <p>・東アジアが古代の日本に与えた影響をカードを使い、自分の言葉で古代の特色を表現している。(資・思)(ノート)</p>
		<p>◇古代を東アジアとの関係から大観する。</p> <p>☆日本につたわったものをカードにまとめ、年表を作成する。</p> <p>☆年表を参考に、古代の特色を自分の言葉で考えグループでまとめ、発表する。</p>	●				
10	第3章 中世の日本と世界	<p>◇武家政権が誕生して、武士の支配がしだいに全国に広まり武家社会が発展していったという大きな時代の流れを理解させる。</p> <p>◇モンゴルの襲来、日明貿易、琉球の国際的役割など、この時代に東アジア世界と密接なかかわりがみられたことや、それが国内の政治に影響を及ぼしたことを理解させる。</p> <p>◇畿内を中心とした都市や農村に自治的なしくみが生まれたというこの時代の大きな変化の原因を、農業をはじめとする諸産業の発達などの視点から考えさせる。</p>					

月	単元名 指導時数	◇ねらい○学習課題 ☆学習活動	評価の観点				評価規準 評価の方法
			関	思	資	知	
		◇武士や民衆の活力を背景にして生み出された新しい文化の特色を、代表的な事例を取り上げてとらえさせ、その中で現在に結び付くものに関心を持たせる。					
11	1 節 世界の動きと 武家政治の始 まり	<p>◇平安時代の中ごろに登場した武士がしだいに勢力を広げたことを、地方や都で起きた戦乱の様子などから理解する。</p> <p>◇荘園と公領からなる新しい土地制度の広がり、武士の成長との関連について考える。</p> <p>○なぜ、武士は鎌倉幕府を支持し、鎌倉幕府は 150 年間も続いたのか。</p> <p>◇武家政権が東国に生まれ、支配力を広げていった様子を、幕府と朝廷の関係などから理解する。</p> <p>☆将軍や執権と御家人の関係に着目して、武家政権の特色を話し合う。</p> <p>◇農業技術や手工業・商業の発達による生活の向上がもたらした社会の変化について考える。</p> <p>◇鎌倉時代の建築物・彫刻・文学作品などを調べ、鎌倉文化の特色をまとめる。</p> <p>☆鎌倉時代の仏教の特色を理解し、それが広まった理由を話し合う。</p>	●		●		<p>・武士が成長していった理由を、荘園と公領からなる新しい土地制度や政治の動きとの関連から考察している。(思)(ノート)</p> <p>・「北条政子のうったえ」などから朝廷と幕府の勢力関係、将軍と御家人の関係を考察している。(思)(授業観察)</p> <p>・絵巻物などの資料から、武士の生活の様子を読み取っている。(資)(ノート)(テスト)</p> <p>・鎌倉時代の農業技術や手工業・商業の発達とそれにとまなう生活の向上について理解している。(知)(テスト)</p> <p>・鎌倉時代の文化について意欲的に調べ、関心を持っている。(関)(授業観察)</p> <p>・鎌倉仏教が多くの人々の心をとらえて広まったことを、教えの特色や社会の動きと関連させて考察している。(思)(授業観察・ノート)</p>
12	2 節 ゆれ動く武家 政治と社会	<p>○なぜ、鎌倉幕府は武士の支持を失ったのか。</p> <p>☆鎌倉幕府が滅亡した理由を考え、話し合う。</p> <p>◇建武の新政から南北朝の動乱に至る経過を理解する。</p> <p>◇室町幕府と鎌倉幕府のしくみを比較して、その特徴をとらえる。</p>					<p>・モンゴルの襲来が国内の政治に及ぼした影響を、御家人の動きから考察している。(思)(ノート)</p> <p>・建武の新政から南北朝の動乱に至る経過や、動乱がもたらした武家社会の変化を考察している。(思)(授業観察・ノート)</p>

月	単元名 指導時数	ねらい・学習課題 学習活動	評価の観点				評価規準 評価の方法
			関	思	資	知	
1		<p>◇東シナ海をはさんだ中国・日本・朝鮮の結び付きや、蝦夷地の動きをとらえる。</p> <p>◇琉球と蝦夷地の人々の交流や結び付きについて理解する。</p> <p>◇農業や商業・手工業などが発達し、民衆の力が伸びてきたことを理解する。</p> <p>◇畿内を中心に自治的な組織が生まれたことを、土一揆などの様子から理解する。</p> <p>○なぜ、戦乱の時代が始まったのだろうか。</p> <p>◇応仁の乱の原因や経過、その後の社会に及ぼした影響について理解する。</p> <p>◇戦国大名の登場とその支配について、応仁の乱や下剋上の風潮から考える。</p> <p>◇代表的な事例を取り上げて、室町時代の文化の特色を理解する。</p> <p>◇この時代に生まれた文化で現代に受け継がれているものに関心を持つ。</p> <p>◇時代の転換の様子をとらえる。</p> <p>○中世の政治の主役は誰だろうか。</p> <p>☆古代の政治と中世の政治の違いを書き出し、比較して、中世の政治の特色を考える。</p>	●	●			<p>・日明貿易、琉球の国際的役割、蝦夷地の動きなどを地図にまとめている。(資)(ノート)</p> <p>・農業や商業・手工業の発達が当時の社会に及ぼした影響について考察している。(思)(授業観察)</p> <p>・村のおきてや一揆の碑文などの資料から、民衆の成長の様子を読み取っている。(資)(授業観察・テスト)</p> <p>・自分たちが住む地域の戦国大名に関心を持ち、意欲的に学習している。(関)(授業観察)</p> <p>・戦国大名の分布図から、下剋上の風潮が全国に広がったことを読み取っている。(資)(ノート)</p> <p>・武家文化と公家文化の融合など、室町時代の文化の特色をとらえている。(知)(テスト)</p> <p>・既習の知識を活用して考え、自分の言葉でまとめ、発表している。(思)(授業観察)</p> <p>・中世の政治の特色を根拠をもって自分なりにとらえている。(知)(ノート・テスト)</p>
2	第4章 近世の日本	<p>◇織田・豊臣および江戸幕府の諸政策を通して新しい安定した社会が生まれ、その社会が長く続いたことを理解させる。</p> <p>◇ヨーロッパ文化の伝来や東南アジア各地への日本人の渡航などの対外関係が活発な時期から、外国との交渉が限定された時期へと移っていったことを理解させる。</p> <p>◇安定した社会が次第に変化し、行き詰まっていく原因について、社会のしくみや経済の変化などから考えさせる。</p>	●		●		

	<p>1 節 結びつく世界との出会い (4 時間)</p>	<p>◇産業や交通が著しく発達し、町人文化や各地方の生活文化が形成されていった様子を、今日に残る文化財や史料などから把握させ、文化的遺産を尊重する態度を育てる。</p> <p>◇イスラム教の広がりや宗教改革などによって、ヨーロッパや西アジアで起きた動きの概略を理解する。</p> <p>◇ヨーロッパ人が新航路を開いた目的を、おもにヨーロッパとアジアの関係から考える。</p> <p>◇ヨーロッパの世界進出の影響について、アメリカ大陸とアフリカを中心に考える。</p> <p>◇南蛮人が日本にもたらしたものについて、図版から読み取らせる。</p> <p>◇この時代に伝わった鉄砲とキリスト教が、日本の社会に広まった理由を考える。</p>	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> ・イスラム教の広がりがヨーロッパに及ぼした影響や、宗教改革の動きのあらましを理解し、その知識を身に付けている。(知識・理解) ・「16 世紀ごろの世界」から世界の一体化を読み取るなど、歴史地図を活用している。(技能) ・ヨーロッパの世界進出がアメリカ大陸やアフリカに及ぼした影響について考察し、その過程や結果を説明している。(思考・判断・表現)
3	<p>2 節 天下統一への歩み (3 時間)</p>	<p>◇信長と秀吉の統一事業の過程を、その経済政策、宗教政策などに関連させながら理解する。</p> <p>◇数多くの大名のなかで、織田信長や豊臣秀吉が統一事業を成し遂げることができた理由を考える。</p> <p>◇太閤検地と刀狩によって、それまでとどのような点で異なった社会が生まれたのかを考える。</p> <p>◇朝鮮侵略のあらましと、その後の日本に与えた影響に関心を持つ。</p> <p>◇桃山文化の特色を建築・絵画・芸能などから理解し、その特色が生まれた理由を考える。</p> <p>◇ヨーロッパ人の来航によって生まれた物資や文化の交流の様子と、その影響を理解する。</p>	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> ・「南蛮人渡来図屏風」に描かれたものからその様子を読み取り、南蛮貿易やキリスト教の広がりや理解に活用している。(技能) ・鉄砲とキリスト教の伝来、南蛮貿易が日本の社会に及ぼした影響について、考察し、説明している。(思考・判断・表現) ・信長と秀吉による統一事業の過程やその政策のあらましを理解し、その知識を身に付けている。(知識・理解) ・世の中に全国統一への気運が生まれた理由を、それまでの日本の歴史の流れなどから考察し、年表などにまとめている。(思考・判断・表現) ・兵農分離の政策によって社会の枠組みがどのように変化したかを、中世の社会と比較して考察し、説明している。(思考・判断・表現) ・豊臣秀吉に対する日本と朝鮮での評価の違いに関心を持ち、朝鮮侵略について意欲的に調べている。(関心・意欲・態度) ・桃山文化の特色を、生活に根差した文化の広がりや武将・豪商の経済力などの時代背景から考察し、適切に表現している。(思考・判断・表現)